

# 平成29年度 JA八千代市の「自己改革」への取り組み

平成27年に開催された第36回JA千葉県大会において、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合としてのJA」をスローガンに、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、自己改革に取り組むことを決議しました。

JA八千代市においても、平成28年度から3年間、自己改革実現に向けた実践計画である「中期3か年経営計画」および「第2次農業振興計画」にもとづき、組合員や地域住民に必要とされるJAを目指したさまざまな取り組みを展開しています。

## 農業所得の増大

### ●販売の増加

農産物の直接販売は、農業者の所得増大に直結することから、2月からグリーンハウスではポイントカードを導入し顧客単価の増額を図りました。JAカードが直売所で使用可能になると同時に消費者の利用促進による販売増加を目指します。

また、やつちドレッシングや産地ブランド化に取り組む枝豆の新規販売先へのアプローチと営業力を強化しました。今後も、量販店や市場の情報収集し、営農指導員との連携を図りながら販路の拡大に取り組めます。

### ●信用事業で「農」をサポート

「JAカードの普及拡大」を目指し4月から直売所でJAカードを使用すると5%割引となるサービスが全国で始まりました。2月のイベントではJA職員が特別ブースを設けて普及推進を行い、当日申し込むとイチゴパックプレゼントの特典を付け、地産地消をPRし生産者の販売意欲の促進を図りました。

また、貸出金については農業関連資金を優先取組事項と捉え、各種農業融資の拡大を推進しました。

直売所で利用可能なポイントカード。利用者の増加を図りました。



## 農業生産の拡大

### ●担い手支援

農業従事者の減少や後継者不足が深刻化する中、担い手の育成・支援に取り組みました。

- ☆農機具等購入支援事業（3件）
- ☆新規親元就農応援事業（5名）
- ☆担い手婚活支援事業

## 地域の活性化

### ●「食と農」でつながりづくり

TAC（※）担当者は地域農業の担い手に日々出向き、その担い手の声・要望を持ち帰り、JAの事業改善につなげています。

准組合員のJA利用促進と地域住民へ農協の理解促進を深めるため、様々な交流の場を設けました。

#### ☆農産物収穫体験

#### ☆市内イベントでの出前授業

#### ☆グリーンハウスの夏・秋の祭り

#### 軽トラ市、農機経済コラボイベント等

地域との直接交流の機会を大切に。



明るい未来を見据えた手厚い支援!

（※）「地域農業の担い手」に日々出向き、その「担い手」の声・要望を収集してJAにつなぐ活動を行うJA担当者のこと。